

刊夕日一廿月十

常磐每日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告料 五號十二字 第一行五元 五折
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社



如來の御用

本統に真から無我になり切るなら、人生はこのまゝ極樂であると思はれるが、自我といふ執着ある故に、四苦八苦などいろ／＼の苦勞が絶えない。苦勞といふのは荷物であり、重荷を背負ふ故に苦しいのである。所がこの重荷だけを佛様に進上して、楽しみだけを頂戴するといふ近頃、便利な妙藥を發見した。

それは囊頃、或る書物を讀みつゝゆくに、ゆゝりなく次ぎの一節に突き當つた、曰く
 家業渡世にかゝりて見ればこれぞ全く如來の御用といふので、私はこの『如來の御用』の一句に至り釋然として肩の重荷を外されたのである。
 家業渡世といふても、樂しいことばかりはない。世

智辛い昨今では大いに苦しむことだらけであるが、その苦しさも借金も忍辱も皆んな如來の御用だと分つて見れば、ホーンに肩身のスク話である。それもこれも如來の御用と感ずるとき一切は有り難く頂くことが出来る。
 尤も私がこれを轉身の妙藥を頂いたからとて、無慾恬淡な皆様も亦た然るべし

ノート

▼色物を洗ふ時
 にはまづ一時間程鹽水に浸して置き、それから洗ひます。濯ぎ水には酢を數滴落すこと

とはさまらぬが近頃の妙數を存する故、その前後の文句を左に録しておく。
 迷ひ悟りの分け目は何處彌陀に萬事を任した時ぢや、これが即ち一念婦命凡夫自力の計らひ熄んで只の只ぢやと落ちつくばかり、往生定まるその上

國立 十和田湖の秋
 酒井耕影
 天然美彩とる秋の湖畔かな
 湖を繞くる景趣や紅葉夕映えす
 湖の面御倉中山浮く紅葉
 原始林溪谷流る紅葉哉
 神秘むる千丈幕や夕紅葉

からは、樂に出て來る御恩の稱名、聲に大悲の姿を拜み、家業渡世にかゝりて見れば、これぞ全く如來の御用、不足小言もどこかへ消えて

二明日の献立

【朝】里芋、みそ汁
 【晝】鮮魚煮付、青枝こんぶ
 【晚】くり、くわゐ、こまあへ

にも淨土と變らぬ心地一切の人々の生きてゆく上に生れる有らゆる苦患は、それが皆んな如來の御用を果たさんための仕草に外ならぬのである。 [完]



戀愛を創作する女

(K子のことども)
 三村哲朗
 K子、彼女はまれに見る世間通だし、總てに通である。大衆の集り事には大低出入する彼女である。そして、お嬢さんのなスタイルと、あの容貌と、白蠟の様な軟い手、よく調和のとれた足脚、魅力ある黒い瞳、それ等を總括した身

振り、そこに彼女の戀愛が生れるのではなからうか？
 毎晩散歩する彼女—コー

スはお定まりの驛前通りマルトモホール參丁目を通つて銀座通り—そこには決まつて彼女のフェルトが足跡を残す。
 銀座通り—そこから幻の様にK子の姿は、薄赤い外燈に送られて—
 首をたれた、實つた稻穂の上を吹く秋風を浴びつゝ、新川畔を歩む彼と彼女、月のない夜は矢つ張みしさを感ずるだらう。

彼女の容貌と、世間通が彼女に戀愛を創作させるんであらう。現今、或る男の言つた様に彼女自身は初心で圖々しんだ？
 うつかり彼女を攻撃し様ものならず、妾これでもまだ處女だワ—といふ臺詞を投げかけられるだらう。

辨口の冴えた彼女、チャイミングな彼女、そしてインテリいな彼女、それ等が彼女に戀愛を創作させるんです。
 一九三二。十。七

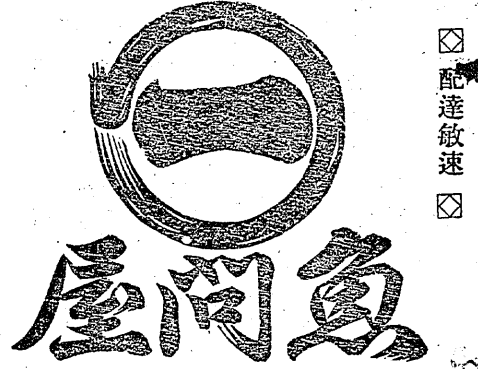


平町風物歌(六)

島田忠夫
 ○遠望
 西ぞらにさはやかにこそ仰がるる赤井の山は寺の屋根も見ゆ

○平町薄暮
 片倉のサイレンひびきてこの町の暮れ入るいろや心寂しき

産名城磐 出賣即製 魚問屋



店理代平命生本日大最優最
 榮 盛 賀 志
 番三一電 目丁四平

イヤ！君！
 いゝ冬服を求めたね
 斷然三二年型だよ
 いやコレカネ！
 例の……「ソレ」
 正札堂



六三四電通場車停目丁四町平

木村外科醫院

平町五丁目橋際
 電話三〇九

ツブシ・金銀

高價買入

修繕 迅速 町寧 廉價
 星野時計店
 平三丁目驛前通り

一般物質 類券債種各

店質井三

岸川目丁四町平
 番六〇六話電

秋ヲ代表

イタシマス洋食

- 松茸 トイ イー
- 松茸 フライ ス
- 松茸 ライ ス
- 松茸 ビフステール
- 洋食、喫茶、宴会
- コンパル
- 電話 六六六番

難波醫院

平町新川町
 電話五〇二番

- セメント
- 壁用材料
- コールター
- ペンキ塗料
- 板ガラス

西村屋藥舖

平町二丁目電三

卒業生の職業

互ひに研究指導

平商が實業教育の効果を一層顯著ならしむる試み

毎月七日に會合

平商業學校にては實業教育の効果を一層顯著ならしめ地方産業に寄與せん目的から商工研究会を組織し毎月七日二丁目常磐銀行支店樓上に於て平町及び附近町村に於ける同校卒業後三年以内の卒業生に對し職業上の研究指導を行ふ事になつたが指導方法は左の如く来る

一、卒業生の職業上に關する實地体験の發表並に之に對する批判其他

二、質疑應答自己職業の質疑其他

三、經營又は時事問題に關する講演及び見學

四、學校よりの産業調査發表

稲の乾燥に

最も注意を

降雨續きと稲の刈入れ

石城郡農會及び平穀物検査所では目下管内各村で稲の刈入れ期となり收穫高に最も重要な影響ある時節となつたが九月以來降雨が多く

從來の野外乾燥のみでは不十分なので庭乾燥を奨勵して居るが近く左記の注意書を配布する事になつた

一、稲の早刈に努むる事



町長時代思 出ひの 談氏衛彦見伏

II(その一)II

イヤ自分としては別段にこれと云つて大した働きはしなかつたが、大過なく其の責めを果し得たのは偏に町民各位の御援助の賜と感謝して居る、町長の椅子を捨て、閑地に身を置くと何

彼と忙しかつた時代の事は思ひやられる、今になつて見れば總べては過去の夢だ然も自分にしては意義のある夢だ。

△▽△

今迄は慌しいばかりでッ

- 一、乾燥を充分にする事
- 一、稲の選別を良くする事
- 一、米の調製を吟味する事
- 一、容量は四斗五合入りとする事

コレラ豚の食用

家人には差支なし

農村救済の意味で許さる

既報石城郡下の豚コレラは八百頭以上に達し非常な損害を農家に與へたが豚が罹病斃死した場合食用に供する事は縣法に依つて嚴禁されて居た爲め今回の如きコレラによる多數の豚斃死の際はその處置に窮する有様であつたが今回農村救済の意味から届出さへすれば家人が自由に食用する事が許される事になつたので平署では早速各町村役場に通牒を發した

補習教育研究

石城郡平窪村公民學校に於ける廿二日午前九時より各村小學校長並に農業擔當教師が參集し補習教育研究会を開催する事になつた

鐵道割引の

證明書書替

平驛では今回改正された運送規則に依つて學校教員學生其他に使用されて居た割引身分證明書は十二月一日より綠色印刷せる證明書を使用する事となり從來の證明書は十一月一日後に無効とされるので證明書所有者に對し近く書替を行ふ筈

豚に注射

コレラ豫防

平町養豚家の飼養する八十頭の内コレラの爲め斃死せる数は二十頭に及んで居るので町役報では来る廿五、廿六の兩日に亘つて豚コレラ豫防の注射を行ふと

尋三授業研究

平町各小學校尋常科第三學年研究會は来る二十五日午後一時より平第一小學校に於て開かれるが各校の出席指導は左の如くである

(第一)井上佳都美 樋口シヅ 中村忠榮(第二)橋

平映畫界

本キシ 大和田キヨ 加治コト 志賀ナカ(第三) 橋本元吉 林又左衛門

平商職員 既報昨日の磐城高等女學校職員對平商業學校職員チームの野球試合はメンバー左の如く九A對一のスコアにて平商職員チーム大勝した

磐女 内岐木長中妻島志川 大土鈴校田新永村中 投捕一二三遊左中右 野澤長部田澤田田川 矢宮校阿泉大下新武

回平館 松竹現代劇三井秀男主演「令嬢と與太者」松竹時代劇高田浩吉 飯田敏子主演「刀の中の父」日活時代劇大河内傳次郎 伏見信子主演「木曾路の鴉」

回世界館 新興時代劇嵐璃徳主演「天保泥繪草紙」新興現代劇英百合子主演「向日葵夫人」新興時代劇阪東妻三郎主演「雪の渡鳥」

毎度御ひいき

有難ふ御座るます

うなぎの御用命は

うなぎ奴

平町町(電話二二番) ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

高久病院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町町 電話五一三番

内科 醫學博士 難波陸

電話五〇二番

平町新川端(釜屋新宅向)

一坑夫慘死し

他の一名は瀕死

不發のダイナマイトが

轟然爆破して現状慘鼻

今朝九時綴坑の椿事

本日午前九時頃石城郡内郷村磐城炭礦綴坑内にて坑夫同村水野出五五居住佐藤祥次郎(三)鈴木又一郎(三)の兩名が九本のダイナマイトに真火爆發中一本不發であつたに氣付かず鶴ハシを以つて掘起した機みに轟然たる大音響と共に爆發し佐藤は粉砕されて骨肉四散し鈴木も瀕死の重傷を負ふたと

大佛供養 熊坂 猫々
番外三井寺

産婆組合

役員改選

廿六日に總會
平署管内産婆組合では來月廿六日午前八時より平署會議室に於いて組合總會を開き役員改選を行ふと

蜂屋柿 大豊作で

相場下り氣味

東京への出廻が早い

石城郡農會より東京市場へ幹旋移出される石城蜂屋柿は本年非常な豊作で出廻りも早く大野、小川等の出荷組合では例年本月三十日頃出荷して居たのを本年は來る廿四日頃より移出される模様で昨年の出荷數三千五百箱に對し本年は七千箱以上に達するものと豫想されて居るが相場は昨年より少々下り氣味である

音にて歌仙會を催すが番組左記の如くである
賀茂 巴 吉野天人 生
田敦盛 鶴飼 清經 橋
辨慶 岩船 鶴龜 羽衣
羅生門 土蜘蛛 紅葉狩

車室の中に

ドリリと重い財布

平驛で掃除中に發見

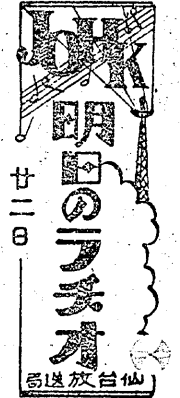
昨日常磐線平驛午後四時三十分着列車の車室を驛員が掃除中後部列車より布製の財布を發見直ちに交番に届け出で中を取調べると七十銀行三十圓約束手形及び

觀世流 歌仙會

二十三日

新舞子にて

平町觀世流鳥越會にては廿三日午前八時より新舞子初



明日の部
今夜は北西の風
曇り勝ち明日は
南西の風曇り

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間)
「お話エディン」工學博士
高津清
後六、二五 英語講座 初
等(科十三)岡倉田三郎
後七、三〇 講演 超短波
の性質と其の利用に就て
東北帝大助教工學博士

促成野菜の栽培

小名濱の農家救済策

石城郡小名濱町農會では野菜類殊に胡瓜の促成栽培法を普及する爲め植田、勿來兩町農會と聯合して胡瓜の促成法を行ひ大量生産によつて農家經濟の向上を計る事となり第一回の打合せを明廿二日午前九時より小名濱小學校に於いて開會縣より久松技手が出席すると

落盤で

虫の息

石城郡内郷村磐城炭礦坑夫齊藤留五郎(三)は昨廿日午前八時頃綴坑内作業中落盤に逢つて虫の息となつて居るのを同僚が発見炭礦病院に收容したが午前十時遂に絶命した

市川検事

山形榮轉

平區裁判所検事局上席検事市川季熊氏は今回山形地方裁判所検事に榮轉せられ近日赴任される事になつたが後任は白河區裁判所検事小林傳松氏であると

白銀衛生役員

平町第二十三區南白銀町では衛生區長及び世話係が任期満了となつたので過般改選せる結果左記の如く決定した(衛生區長)鹽田勝治郎

明日の部

前六、三〇 秋季國文學講座
座奥の細道(抄)萩原井泉水
前九、一〇 料理献立(蟹)「食中」佐藤つぎ
前一〇、三〇 家庭講座
「食物中毒に就て」醫學博士竹内松太郎
後一〇、五〇 管絃樂 コロ
ナオーケストラ指揮佐藤清吉
後一、五〇 運動競技(六)大學野球リーグ戦試合状況(法政對明治第一回戰)明治神宮外苑球場より中
二週間の傷を負ふ

同居人が

衣類を盗み

石城郡内郷村大字宮宇鬼ヶ澤居住山谷英雄方同居人三坂村元町生れ久保木國房(三)は去る十九日夜山谷所有の衣類十八点を窃取逃走をしたので目下平署で捜査中

平職業紹介所報告

求人を求める方
△施盤工仕上工 各五名
四十才迄 尋卒日給一圓五十錢 經驗ある者(茨城縣某工場)
△女中 三十才前後 尋卒 給料面談(平町某)
△農夫 五十才以下 委細面談(豊間村某)
△大工徒弟 十八才 尋卒 仕着小遣(神谷村某)
△回職を求める方
△女中 二十六才 高卒

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第八十席 平手造酒

花會に来る親分達

洲の崎の政吉が繁藏の許へ来た時は其の日の午後三時頃、表の格子を取拂ひ毛氈を敷き詰め屏風を立て子分は其の前に控へて一々客の案内をする、政吉等四人はズイとそれへ入つて来た

○「お出でなさいませ、只今お洗足を差上げます」

門口に盥が十個もならべそれに水が溢れる程汲んである、それを持つて来て政吉始め付き添ひの子分の足を洗ひ

○「此方へお通り下さいませ」

政吉は半合羽を脱ぎ笠を案内の者に渡して帳場に来ると紋付の羽織に袴を着けて其れに控へて居るは勢力富五郎に親分の繁藏、他に若い者が三四人居る政吉は脇差を取つて後方に置き

政「今日はお日柄もよくお目出度う御座います」

と丁寧挨拶した

繁「之はよくお出で下さつた」

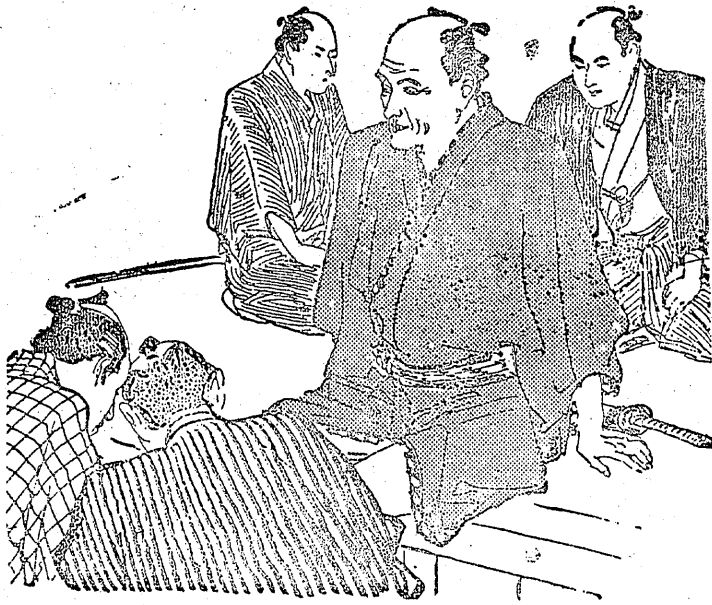
政「助五郎が参る筈で御座います、急いで御陣屋へ御用になりません、そこで私が代理として出まして」

繁「それは、御苦勞でございます、助五郎親分は御用を聞いてゐるからさぞお忙しい事と存じます、政「時に親分これは些少で御座いますか……」

義理は繁藏の懐中に入れて了つた、勢力は妙な事をすると思つたが、それと口で云ふ事ならず黙つて見てゐた

繁「さア政吉さん二階へお出で下さい」

繁「さア待つて呉れ、勝手な事ばかり喋舌つてゐるだ義理も出さねえ洵に是は少ないが何しろおれも今では表を引いて隠居してゐる事として思ふ程の事も出来ねえ、長者の萬燈より貧者の一燈と云ふ事もある、これで勘辨してくれよ……」



録五兩は助五郎の義理、二兩は若い若中、繁藏はそれを見て有難う存じます、幾久しく受納致します」

と丁寧に頂きそれを懐中に入れた、他より届いた義理は一々帳場へ出して勢力をして記させるが助五郎の

さんよくお出で下さつたと帳場から出て来た、子分は脇差を持つて来て其五郎の足を洗ふ、上り口に腰を下した甚五郎

繁「足まで洗はしては氣の毒だ、これが門跡様ならこの汚れた水が猪口に一杯一分位に賣れるであらうが俺の足をあらつた水では、犬も呑むめえ、さア、老人の事だ、勘辨してくれ」

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 腸胃病

淋病 十二指 腸胃病

松村 院 科 醫 院

南平町 電話 〇七一

一冊の代金で 御希望通りな

五冊の雑誌が 自由に読める

川崎 文庫

電六三〇番

(申込次第規則書進呈)

月光に夢を追い 涼風に戀を語る

若人の胸をこらに高鳴る 笑給つてウルトラサービス!

シャンデリア淡き 鮮金の美酒 涼味満喫の境地!

世界一のカフェ

専門 産科 婦人科 花柳病科

井坂 院

平町田町 電話五五九番

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八八番

新製 品

コーヒー通の待望せる 挽立コーヒーの快味

四半卦 〇、三五 半卦 〇、六五

コーヒー發賣

グアテマラ 二割五分 三割五分 三割配合

ジャマカ 四割五分

モヤバ 二割五分

速席挽立を差上げます

大勝園コーヒー部

電三九六番